

執筆者一覧

山本 博之(やまもと ひろゆき)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。専門は東南アジア地域研究／メディア研究。研究テーマは、イスラム教圏東南アジアの民族と政治、アジアの災害対応、混成アジア映画、地域研究方法論。著書に『脱植民地化とナショナリズム——英領北ボルネオにおける民族形成』（東京大学出版会、2006年）、編著書に *Bangsa and Umma: Development of People-grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press, 2011) および『マレーシア映画の母 ヤスミン・アフマドの世界——人とその作品、継承者たち』（英明企画編集、2019年）がある。

光成 歩(みつなり あゆみ)

津田塾大学学芸学部准教授。専門はマレーシア地域研究。研究テーマは20世紀マレー・イスラム世界におけるムスリム女性の社会的地位、多宗教社会のイスラム家族法。主な論文は“Controversial Boundary: The Construction of Muslim Law Framework in Decolonizing Singapore” (*Malaysian Studies Journal*, Vol. 4, pp.41-61, 2015)。

坪井 祐司(つばい ゆうじ)

名桜大学国際学群上級准教授。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。専門はマレーシア近代史。研究テーマは英領期のマラヤにおけるマレー民族の形成の過程。著書に『ラッフルズ——海の東南アジア世界と「近代」』（山川出版社、2019年）がある。

篠崎 香織(しのぎ かおり)

北九州市立大学外国語学部教授。専門はマレーシア地域研究。マラヤ地域（マレーシア半島部とシンガポール）の華人社会を中心に、マレーシア地域の政治・文化・歴史を研究。著書に『プラナカンの誕生——海峡植民地ペナンの華人と政治参加』（九州大学出版会、2017年）がある。